

検 定 意 見 書

受理番号 27-203		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初実務		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返①		「ビジネスフレーズ集」(全体) 以下、表見返②「敬語の種類と使い方」、表見返③「ビジネス実務の学習にあたって」、裏見返④「外国における	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページの記述がなく、どこで学ぶのか分からず理解し難い。)	3-(3)				
			そろばんの評価」、裏見返⑤「贈り物での注意点」、裏見返⑥「自他のよび方」も同様。						
2	39	図	「カトラリーセットの例」(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (グラスや皿がカトラリーであると誤解する。)	3-(3)				
3	39	図	(「カトラリーセットの例」の「ゴブレット」「赤ワイン用グラス」「白ワイン用グラス」のイラスト)	生徒にとって理解し難いイラストである。 (グラスの違いが分からない。)	3-(3)				
4	41	8	中華料理	表記が不統一である。 (40ページ19行目「中国料理」)	3-(4)				
5	64	29	客 以下、65ページ「金銭授受の流れ」の①1行目の「お客」、66ページ「金銭授受の流れ」の①2行目、②5行目、③	生徒にとって理解し難い表現である。 (64ページ4行目「顧客」との違いが分からない。)	3-(3)				
			3行目、⑥2行目の「客」も同様。						
6	74	10	文書には、大きく分けて私文書とビジネス文書がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (私文書の説明が無く理解し難い。)	3-(3)				
7	83	4	校正記号と指示に従って	生徒にとって理解し難い表現である。 (校正記号の説明が無く理解し難い。)	3-(3)				
8	83	図	(「6. 協会の特徴」の「経済産業省認可」)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (公益財団法人が経済産業省の認可であると誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-203		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初実務		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
9	100	側注②	法律上、業務執行および会計処理を監査する監査役の設置が義務づけられている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての会社に設置が義務づけられていると誤解する。)	3-(3)				
10	107	図	(給与の支払明細書の「支給」欄の①の範囲)	生徒にとって理解し難い表現である。 (107ページ10行目では固定賃金に通勤手当を含めており違いが分からない。)	3-(3)				
11	107	図	(給与の支払明細書の「支給」欄の4行目「約付手当」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「約付」の意味が分からない。)	3-(3)				
12	107	図	(給与の支払明細書の「支給」欄の合計「349,656」)	生徒にとって理解し難い値である。 (金額の根拠が分からない。)	3-(3)				
13	118	側注④	支配目的の株式(持株比率3分の1超)の配当は全額益金算入となる。	不正確である。	3-(1)				
14	119	側注①	受取配当金からこの借入金の利息をさし引いた残額の50%が益金不算入となる	不正確である。	3-(1)				
15	211	1	ウェブ会議 以下、211ページ13行目「ウェブ会議」も同様。	表記が不統一である。 (113ページ12行目「Web会議」)	3-(4)				
16	225	9	Hilton Hotel	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
17	228	図	(「入国書類の書きかた」の書類)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (この書類が現在も使われていると誤解する。)	3-(3)				
18	252	図	(「e-mailの書式」の「CC」欄の「複数の人に同じメールを送りたいときにメールアドレスを記入」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (81ページ側注「電子メールの作成例」の「Cc」の内容と異なる。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-211		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初実務		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返①		「基本的なビジネスマナー」(全体) 以下、表見返②「面接の一連の流れ」、 表見返③「プレゼンテーション」、 表見返④「校正記号一覧」、表見返⑤	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページの記述がなく、どこで学ぶのか分からず理解し難い。)	3-(3)				
			～⑥「もっとそろばんを知ろう！やってみよう！」、表見返⑦「社会人に必要な基本的な職業意識」、裏見返⑧「ビジネス文書の構成・作成ポイント一覧」、裏見返⑨～⑩「消費税及び地方						
			消費税の確定申告書を作成してみよう」も同様。						
2	4	20 - 21	株式会社は、全部または一部の株式について株式会社の承認を必要としない公開会社	生徒にとって理解し難い表現である。 (株式について何を承認するのかが分からない。)	3-(3)				
3	5	グラフ	(左段「企業形態別法人構成比」の「合名会社」の「4,083」)	不正確である。 (出典の数値と異なる。)	3-(1)				
4	11	囲み	コンスタンチノーブル	誤記である。	3-(2)				
5	12	側注	(吹き出しの9行目「フラッド」)	誤記である。	3-(2)				
6	18	側注①	厚生労働者	誤記である。	3-(2)				
7	21	グラフ	(左上段「労働者の雇用形態」の帯グラフの割合)	生徒にとって理解し難い表現である。 (21ページ左中段「雇用形態別雇用者数の推移」の2014年の数値の比率と異なる理由が分からない。)	3-(3)				
8	42	側注①	(「集団(小グループ)によるに」の最後の「に」)	誤植である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-211		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初実務		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
9	72	側注①	家計簿ソフト	生徒にとって理解し難い表現である。 (家計簿ソフトをビジネスで利用する理由が分からない。)	3-(3)				
10	78	16 - 17	道府県税と市町村税にわけられ、あわせて住民税と呼ばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (道府県税と市町村税が住民税であると誤解する。)	3-(3)				
11	79	グラフ	(左段「我が国の一般会計歳入総額」の「特別公債」および「たばこ税」の「1.1」)	不正確である。 (出典の内容と異なる。)	3-(1)				
12	79	グラフ	(右段「我が国の一般会計歳出総額」の「基礎的財政収支対象」の「726, 121」)	不正確である。 (グラフに示す項目の合計と一致しない。)	3-(1)				
13	83	2	別表一 (一) …納付すべき法人税の計算をおこなうための表。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (別表一 (一) が法人税の計算のみを行うと誤解する。)	3-(3)				
14	85	10	法人の基本税率は25.5%であるが	不正確である。	3-(1)				
15	90	18	一般株式等は50%が益金不算入になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (一般株式等がどのようなものが分からない。)	3-(3)				
16	90	25	益金不算入額 = (受取配当金 - 負債利子) × 50% 以下、91ページ「受取配当金の益金不算入の計算例」の「(5,000,000 -	不正確である。	3-(1)				
			300,000) × 50% = 2,350,000」も同様。						
17	90	側注	「関係会社株式」 (全体)	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-204		学校 高等学校		教科 商業		種目 財務会計 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 ⑧	13	⑤滋賀産業株式会社は、株主総会の決議にもとづき、資本金¥8,000,000を減少して、その他資本剰余金を同額増加させたうえで、繰越利益剰余金の借方残高¥8,000,000を填補した。	生徒にとって誤解するおそれのある表現である。 (表見返⑦の図中⑤のみの仕訳であると誤解する。)	3-(3)				
			(借) 資 本 金 8,000,000 (借) その他資本剰余金 8,000,000 (貸) その他資本剰余金 8,000,000 (貸) 繰越利益剰余金 8,000,000						
2	20	7 - 8	会社法と金融商品取引法による財務諸表の種類を示すと、次のとおりである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (20ページの表に示す内容が財務諸表であると誤解する。)	3-(3)				
3	91	20 - 22	例 青森商事株式会社は、決算にあたり、従業員賞与の当期分¥4,000,000を計上した。 (借) 賞与引当金繰入 4,000,000	生徒にとって理解し難い表現である。 (当期分の従業員賞与の計上額が、見込額か確定額か分からない。)	3-(3)				
			(貸) 賞与引当金 4,000,000						
4	227	3 - 4	(貸) 評価差額××× 諸 負 債×××	生徒にとって理解し難い表現である。 (216ページ(1)と記載順が異なる理由が分からない。)	3-(3)				
5	228	表	「連結精算表(一部)」(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (234ページの「連結精算表」と記載順が異なる理由が分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-206	学校 高等学校	教科 商業	種目 財務会計 I	学年
-------------	---------	-------	-----------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	表見返 ①②	図	企業会計制度の概要（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 (7ページ20～22行目の内容と異なる理由が分からない。)	3-(3)
2	7	側注③	IAS : International Accounting Standards	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国際会計基準審議会がIASを設定したと誤解する。)	3-(3)
3	104	13 - 14	¥3,500,000で買入れた特許権について¥450,000を償却した。	生徒にとって理解し難い表現である。 (¥450,000の根拠が分からない。)	3-(3)
4	108	12 - 14	国際会計基準によれば……いちじるしくのれんの価値が減少している場合には、価値を減少させる処理をおこなう必要がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国際会計基準で行う処理であると誤解する。)	3-(3)
5	196	4 - 7	商品評価損300,000 棚卸減耗費100,000 以下、6、7行目「商品評価損」、「棚卸減耗費」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (85ページ上Pointの説明文と異なる。)	3-(3)
6	216	側注①	学習の必要性から	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこの学習において必要なのか分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-212		学校 高等学校		教科 商業		種目 財務会計 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	19	8 - 9	金融商品取引法および会社法における財務諸表の種類は、次のとおりである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(19ページに示す内容が財務諸表であると誤解する。)	3-(3)				
2	61	18	3. 決算日につき	生徒が誤解するおそれのある表現である。(決算日にしか処理を行うことができないと誤解する。)	3-(3)				
3	62 - 63	1 - 13	(「リース取引と割賦購入」の中の「企業は、備品や機械などを購入取得ではなく、……………(貸)現金 20,000」)	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。(学習指導要領に示されている内容との区別がつけられておらず、示されていない内容について、必要	2-(16)				
				に応じて活用する旨が明示されていない。)					
4	63	28	(借) 車両運搬具 800,000 (貸) 未払金 800,000	生徒にとって理解し難い表現である。(未払金だけを用いる理由が分からない。)	3-(3)				
5	147		「外貨建取引」(全体)	発展的な学習内容であることが明示されていない。(学習指導要領に示されていない内容で必要に応じて活用する旨が明示されていない。)	2-(16)				
6	152 - 153		「税効果会計」(全体)	発展的な学習内容であることが明示されていない。(学習指導要領に示されていない内容で必要に応じて活用する旨が明示されていない。)	2-(16)				
7	226	5	東都商事株式会社	生徒にとって理解し難い表現である。(解答の会社名が異なる理由が分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-205		学校 高等学校	教科 商業	種目 原価計算	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	34	側注②	普通仕訳帳に合計転記をおこなってから転記する記帳法もある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (37ページ側注①の内容との違いが分からない。)	3-(3)
2	81	表	(「製造指図書番号#12 原価計算表」集計欄)	生徒にとって理解し難い表現である。 (裏見返の折り込み「原価計算表 指図書#3(仕掛品)の集計欄には金額が入っていない。)	3-(3)
3	108	1	経済的に入手可能な基準を選択する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており分からない。)	3-(3)
4	218	囲み	(6) 諸 口 199,000 (原価差異)	生徒にとって理解し難い表現である。 (解答の(6)の仕訳と金額が一致しない。)	3-(3)
5	278		(左段8行目「売上(製)原価月報」)	誤記である。	3-(2)
6	278		(右段17行目「原価計算表」、20行目「原価計算表」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ2つあるのか分からない。)	3-(3)
7	281		(右段16行目「予定配賦」、17行目「予定配賦」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ2つあるのか分からない。)	3-(3)
8	折込み		(表右側囲み「原価計算表」真ん中「指図書 #1 (完成品)」)	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-213		学校 高等学校	教科 商業	種目 原価計算	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	表見返 1, 2		「原価部門と製造プロセス」(全体) 以下、表見返4「個別原価計算」、表見返5「総合原価計算」、折込5、6「部門別個別原価計算の記帳のまとめ」	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページの記述がなく、どこで学ぶのか分からない。)	3-(3)
			、折込7、8、裏見返6「部門別個別原価計算の記帳のまとめ」も同様。		
2	174	図	(「第1工程半製品」勘定の「在庫高」、「出庫高」)	生徒にとって理解し難い表現である。 (入庫、出庫を用いる理由が分からない。)	3-(3)
3	217	側注②	②	誤記である。	3-(2)
4	217	側注②	(「月初仕掛品は213ぺ」の後の空白)	誤植である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-4		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	61	下図	◆操作方法 右下セル(C4)～セル(D7)の範囲に複写 すぐ上の図 赤で囲まれた範囲	相互に矛盾している。	3-(1)				
2	87	16	小数第1位まで表示する。 中図F列 0 0 1 5 16 32	相互に矛盾している。	3-(1)				
3	88	左下図	売上気温相関図	不正確である。 (売上相関分析表にあるデータのうち売上気温相関図に示されていないものがある。)	3-(1)				
4	91	14 - 15	結果の切片とX値1(傾き)が、…のY切片の傾きと一致する	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Y切片の傾き)	3-(3)				
5	93	28 - 31	確率をPとすると、…は下記のようになる。 $P = \frac{X(\text{標本値}) - \mu(\text{平均値})}{\sigma(\text{標準偏差})}$	誤りである。 (式の右辺は負の場合もあり、Pは確率とはならない。)	3-(1)				
6	105	9 - 11	セル(B4)～セル(F4)の売上高とセル(B6)～セル(F6)の売上総利益	誤りである。 (F列は構成比を百分率で表したもの)	3-(1)				
7	112	21	株式の利回りとは予想配当金に対する時価の割合をいう。	誤りである。 (予想配当金に対する時価の割合)	3-(1)				
8	159	15 - 16	「リスト検索の結果フォーム」 21行、162ページ13行 「リスト検索結果フォーム」	表記が不統一である。	3-(4)				
9	185	中図	[学生]----(学科番号) <学科番号> [学科]----(学科番号)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (異なる3種の学科番号が存在するかのようになり、誤解する。)	3-(3)				
10	190	7	Japan Industrial Standards 20ページ22行 Japanese Industrial Standards	表記が不統一である。	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 28-4		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	233	下図	判定「RYOUKIN < 0」の下 YES「RYOUKINをラベルで表示」 NO「取り扱いなし」をラベルで表示」	誤りである。 (YESとNOの処理)	3-(1)				
12	261	下図	得意先→ 得意先コード 得意先名 伝票番号	誤りである。 (260ページのE-R図において「得意先」エンティティに「伝票番号」アトリビュートは含まれない。)	3-(1)				
13	266	上図	売上表の得意先コード：太枠あり 売上明細表の商品コード：太枠なし 下のE-R図 売上明細の商品コード：太字あり 売上の得意先コード：太字なし	相互に矛盾している。	3-(1)				
14	290	15	g. 枠囲い「四角形」 (以下 同ページ左下図) 269ページ左下図, 同ページ左上図 請求書発行メニュー	相互に矛盾している。 (枠の有無)	3-(1)				
15	294	12	c. 枠囲い「四角形」 (以下 同ページ左下図) 292ページ上図 売上分析サブメニュー	相互に矛盾している。 (枠の有無)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-24		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	10	11 - 12	光ケーブル (2か所) 側注 光ケーブルの例 9ページ中表 光ファイバケーブル (3か所)	表記が不統一である。	3-(4)				
2	19	18 - 20	装置Aは稼働率0.9, 装置Bは稼働率0.8とする。 稼働率 $0.9 \times 0.85 = 0.72$	相互に矛盾している。 (稼働率の値と計算式)	3-(1)				
3	20	1	平列系システム 2行 平列系システム 7行 並列型のシステム	表記が不統一である。	3-(4)				
4	20	11 - 12	スループット (単位時間当たりの仕事量やレスポンスタイム (応答時間))	脱字である。 (括弧の対応)	3-(2)				
5	22	11	UPS① 17行 データセンター① 29行 RAID② 側注① Uninterruptible … 側注① コンピュータや…	誤記である。 (側注番号)	3-(2)				
			側注② Redundant …						
6	33	17	例題2-1-1 (p. 28) 34ページ2行 例題2-1-2 (p. 29) 47ページ16行 p. 41の委託手数料の例 49ページ6行 例題2-2-1 (p. 44) 50ページ9行 例題2-2-1 (p. 44)	不正確である。 (ページが対応していない。)	3-(1)				
			51ページ4行 例題2-2-1 (p. 44) 78ページ19行 例題2-3-3 (p. 68) 81ページ3行 例題2-3-4 (p. 71) 81ページ11行 シート名「待ち行列表」 (p. 72)						
			85ページ12行 例題2-4-1 (p. 75) 86ページ3行 例題2-4-1 (p. 75)						
7	42	側注3	=ROUNDUP…指定した桁数未満を切り上げる。 43ページ側注3 =ROUNDDOWN…指定した桁数未満を切り捨てる。	不正確である。 (桁数未満)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 28-24		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
8	59	上囲み	②グラフ範囲A5～A11, E5～G11	不正確である。 (グラフ範囲)	3-(1)				
9	65	側注	相関係数 r 強い相関： $0.7 \leq r$ 弱い相関： $0.3 \leq r < 0.7$ 相関なし： $r < 0.3$	不正確である。 (相関係数の範囲)	3-(1)				
10	69	上囲み	シート名「計算表」セルF4	不正確である。 (判定が空欄)	3-(1)				
11	104	上囲み	⑥「講座入力フォーム」	誤記である。 (右括弧)	3-(2)				
12	105	4	例題3-2-1 (p.90) 120ページ2行 例題3-3-1 (p.110) 151ページ2行 例題3-3-14 (p.139)	不正確である。 (ページが対応していない。)	3-(1)				
13	113	4	「Like” *土曜*”」	誤りである。 (文字列の指定方法)	3-(1)				
14	131	8	例題3-3-3で作成したE-R図をもとに、	不正確である。 (例題番号が対応していない。)	3-(1)				
15	141	6	ユーザー 4ページ12～13行 ユーザ	表記が不統一である。	3-(4)				
16	154	2	SQL Structured Query Language	不正確である。 (SQLの正式名称)	3-(1)				
17	156	上囲み	例題3-4-1の例1-1 クエリ1 SELECT 顧客テーブル, 顧客名 FROM 顧客テーブル; 155ページ8行	相互に矛盾している。 (クエリ文)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 28-24		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			SELECT プランID FROM 申込テーブル						
18	158	1 - 4	SELECT 顧客名 プラン名 FROM 顧客テーブルa, プランテーブル b, 申込みテーブルc WHERE a. 顧客ID = c. 顧客ID AND c. プランID b.	誤りである。 (SQLの文法によっていない。)	3-(1)				
			プランID AND 申込人数>=4						
19	158	下表	プランID 合計 203 2	誤りである。 (合計)	3-(1)				
20	160	下表	プランID プラン名 204 世界遺産ツアー 154ページ中囲み 申込テーブル	相互に矛盾している。 (申込人数が4人以上のプラン)	3-(1)				
21	161	上表	プランID プラン名 203 海鮮料理と朝市 154ページ中囲み 申込テーブル	相互に矛盾している。 (申込人数が4人未満のプラン)	3-(1)				
22	161	4 - 5	(SELECT * ID FROM 申込テーブル プ ランテーブル.プランID = 申込テー ブル.プランID)	誤りである。 (SQLの文法によっていない。)	3-(1)				
23	162	4	INSERT INTO テーブル名(フィールド 名) VALUE(値) 8行, 9行 VALUE	誤りである。 (SQLの文法によっていない。)	3-(1)				
24	166	19 - 20	「50円を持って郵便局へ行き、50円と はがきを交換して帰ってくる」	不正確である。 (はがきの値段)	3-(1)				
25	171	側注	文字の代入 変数に文字を代入するときは、文字を 「”」(ダブルクォーテーション)で 囲む。	不正確である。 (代入するもの)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-24		学校 高等学校		教科 商業		種目 ビジ初情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
26	175	中囲み	トレース表 流れ図 ①②③④ ②③ ②③④ ②③④ … 174ページ中囲み ④最高料金がツアー料金未満の場合は	不正確である。 (条件が不成立の場合のトレース)	3-(1)				
			, ツアー料金を最高料金に代入し, それ以外の場合は, 何もしないで⑤へ進む。						
27	187	3	練習問題4-1-4 (p. 156) 6行 例題4-1-5 (p. 157) 189ページ3行 例題4-1-6 (p. 158) 190ページ2行 練習問題4-1-6 (p. 172)	不正確である。 (ページが対応していない。)	3-(1)				
			200ページ側注 p. 187のコードの7行目のように						
28	208	中囲み	CommandButton2 Click Private Sub CommandButton2_Click() Unload UserForm1 End Sub	誤りである。 (本文11行の説明「オブジェクトを表示する」に対応する処理をしていない。)	3-(1)				
29	213	下囲み	⑤……Cells(Gyo, 1) = ComboBox1.Text 210ページ下囲み セル(行, 1)←ComboBox1.Value ⑤セル(行, 1)にComboBox1.Valueを代	相互に矛盾している。	3-(1)				
			入する。						
30	229	囲み	Unload 受付データ入力フォーム 228ページ上囲み ④…受付データ修正フォームを閉じて	相互に矛盾している。 (表示するの否か)	3-(1)				
31	238	4 - 7	それぞれの式を17~18行目にコピーする。 C16:=VLOOKUP(\$G\$1, 受付表!\$A\$4:\$M\$43, 7, FALSE) E16:=VLOOKUP(\$G\$1, 受付表!\$A\$4:\$M	誤りである。 (コピーした際の第3引数の値)	3-(1)				
			\$43, 10, FALSE)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

